



～ 車いす利用、変形、褥瘡予防の参考に ～

# シーティング研修会



公益財団法人 JKA  
競輪公益補助事業

姿勢を改善して保つことで、様々な効果と可能性が広がる  
「シーティング」の技術についての研修会です。

◆講師 **山崎泰広さん**  
シーティングスペシャリスト

●日時・場所 令和4年7月9日(土)～10日(日)

**北海道立道民活動センター「かでのる27」4階 大会議室**

〒060-0002 札幌市中央区北2条南7丁目 Tel.011-204-5100

(内容) シーティングセミナー講義、シーティング相談・体験会

9日 PM13:30～17:00 (受付 12:30～)

10日 AM 9:10～10:40 (受付 9:10～)

●申込み 裏面の申込用紙に記入のうえ、FAXにてお申し込みください。

●定員 50名 ※募集は定員になり次第、締め切りとさせていただきます

……車いすに座っていて、こんな事を感じたことはありませんか？

- ・ずり落ちた姿勢で座ってしまう
- ・体が片側に倒れてしまう
- ・体や頭が前に倒れてしまう
- ・長時間座っていると、お尻・背中・腰・首などが痛い
- ・長時間車いすに乗ってられない
- ・いつも同じ場所に傷・発赤・褥瘡が生じる など

【シーティング前】



【シーティング後】



【過去のシーティング体験会にて】

シーティングによって、

姿勢を改善することで

- ・変形などの二次障害の防止
- ・痛みを除去、軽減
- ・褥瘡予防・再発防止
- ・長時間快適に車椅子を使用
- ・残存機能を最大限に発揮
- ・家族の負担軽減
- ・表情が豊かに……

●主 催： 一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会

●申込・連絡先： 公益財団法人北海道肢体不自由児者福祉連合協会

TEL011-241-8391 FAX011-251-5027 E-mail kato@h-doshikyo.jp



# シーティング研修会 参加 申込書

宛先:北海道肢体不自由児者福祉連合協会

FAX 番号 011-251-5027 担当 事務局長 加藤

以下の各項目についてご記入いただき、FAX または E メールでお申込みください。  
ご家族など複数名にてお申込みの方は、参加される方全員のお名前をご記入ください。

参加者氏名(代表者)	
勤務先	
職種/役職等	
住所(自宅・勤務先)	
電話番号(自宅・勤務先)	
FAX 番号(自宅・勤務先)	
E メール(自宅・勤務先)	
申し込み区分	障害児・者 本人 / 家族 / 一般
体験希望日 ※1.※2	9日(土) / 10日(日)
参加者氏名 ※参加者全員の氏名をお書きください	
研修会で特にお聞きになりたいことが ありましたら、ご記入ください。	
シーティング相談・体験を希望される方は 年齢・障害・程度とシーティングで改善 したい問題をご記入ください。	

※1 講演会後に相談体験会を行います。シーティング相談・体験を受ける方も前提として講演をお聴きください。

※2 シーティング相談体験は23日から対応させていただきます。希望者が多い場合は24日に対応させていただきます。

※3 シーティング相談・体験を希望される方には事務局より連絡させていただくことがあります。

- お申込みは FAX または E メールをお願いします。(左記の使用できない環境の方はTELでの申込みも受けいたします)
- FAX でお申込みの方は、本申込書に必要事項をご記入の上、上記 FAX 番号に送信してください。
- E メールでお申込みの方は、E メール本文にこの申込書を PDF 形式で添付して、kato@h-doshikyo.jp 宛に送信してください。

## セミナー講師情報

山崎 泰広(やまざきやすひろ)

- (株)アクセスプランニング シーティングスペシャリスト
- 一般財団法人 日本車椅子シーティング財団 副代表理事
- シーティングで自立支援と介護威厳を実現する議員連盟アドバイザー
- 元) 順天堂大学医学部整形外科学講座 非常勤講師



1960年(昭和35年)1月28日東京に生まれる

77年より米国の高校に留学。79年2月、転落事故により脊髄損傷、下半身麻痺となる

リハビリ後、高校復学、大学進学。85年、ボストン・カレッジ経営学部を卒業。帰国して食品会社に就職

帰国当時の遅れていた日本の福祉機器を変えようと、障害児者の自立を支援する優れた機器を世界中から提供するために90年(株)アクセスインターナショナルを設立。日本に知られていなかったモジュラー型車椅子や支援機器について周知し活用を進めるためにセミナーや講習会を全国で開催。教育活動によりモジュラー型車いす、褥瘡予防クッション等支援機器の普及に努めた。その製品と活動は日本の車いすや支援機器が変わる転機となった。

93年、褥瘡治療で入院した米国の病院で「車いすシーティング」と出会い、長年悩まされていた褥瘡が完治。その優れた理論と技術を日本に伝えるために米国の理学療法士と全国でセミナーを開催。日本のシーティングのパイオニアのひとりである。毎年欧米の講習会に参加して車いすとシーティングの最新情報と技術を学び、障害児から高齢者まですべての車いす使用者の悪い姿勢による二次障害防止と機能性向上、自立支援と介護軽減に務めている。

現在は車いすシーティングを中心に姿勢と自立支援に関するコンサルティングを提供する(株)アクセスプランニングのチーフコンサルタント/シーティングスペシャリストとして活動。日本全国で開催しているセミナーは28年目を迎え、多くのリハビリ・医療・介護・福祉関係者、障害当事者と家族が受講している。教育活動と共に車いす使用者の姿勢・車いすシーティングに関するコンサルティングを提供し、正しい車いすでの姿勢による褥瘡や変形をはじめとする二次障害の防止と自立支援に努めている。

日本のバリアフリーとユニバーサルデザインの向上のために省庁や地方自治体の様々委員を歴任

東京都スポーツ振興審議会委員、

静岡県 しずおかユニバーサルデザイン専門委員、佐賀ユニバーサルデザイン推進会議アドバイザー、

観光庁ユニバーサルツーリズム促進検討委員会委員、

内閣官房・ユニバーサルデザイン2020関係府省連絡会議～評価会議構成員 等々

著書に

「療育ハンドブック 47集 シーティングで変わる障害児者の未来」(一社)全国肢体不自由児父母の会連合会)

「運命じゃない! シーティングで変わる障害児の運命」(藤原書店刊)

「愛と友情のボストン 車いすから起こす新しい風」(藤原書店刊)

共著に

「在宅医療 多職種連携ハンドブック」(日本医療企画刊)

「在宅医療カレッジ ～地域共生社会を支える他職種の学び21講」(医学書院刊)

「在宅 褥瘡対応マニュアル 改訂第2版」(日本医事新報社刊) 等

ポータルサイト

医療・ケアの情報サイト「アルメディア WEB」シーティング特集『一歩進んだ世界標準のシーティング』等がある。